

【2018年度 研究奨励賞】

「史上初の有機二次元トポロジカル絶縁体『ジチオレンナノシート』の創製への挑戦」

坂本 良太（東京大学大学院理学系研究科 助教）



この度は2018年度ATI研究奨励賞を頂きましたこと、まず新世代研究所関係各位に感謝申し上げます。末永く研究助成・奨励賞が続くことを祈念しております。

私は理学部化学科出身で、学生時代は機能性分子の合成研究を行っていました。2011年から分子性ナノシート・ナノワイヤの研究に転じ、表題の課題はその一部となります。もともとの専門から離れた研究には当初苦心しましたが、最近は分子ならではの要素を組み込んだ、ナノワイヤ・ナノシートの新境地が見えてきています。

さて、私は前出の通り、化学を専攻しています。電子・物理分野を主な対象としているATI研究奨励賞の受賞は、境界領域の探索を目指す私にとっては無上の励みとなるものです。この心を忘れず、新研究の開拓を目指していきます。

「水のナノ構造制御による新規物性・機能の設計」

客野 遥（神奈川大学工学部 准教授）



この度は2018年度ATI研究奨励賞をいただきまして、大変光栄です。

私は2014年度に本財団の助成を賜り、円筒ナノ空洞内の水の性質を研究しました。その結果、内包水の性質は、空洞サイズと空洞壁の親水/疎水性により制御可能であることを見出しました。

現在は、非円筒ナノ空洞内の水の研究に取り組んでおります。今後もナノスケールの水を研究し、新たな親水/疎水性ナノ材料の開発、水環境下で機能するデバイスの設計、さらに水の基礎科学の発展に貢献したいと考えております。

最後に、本研究助成及び研究奨励賞選考にご尽力頂いた、本財団関係者並びに審査員の先生方に厚く御礼申し上げますとともに、本研究にご協力いただいた共同研究者の皆様にも深く感謝いたします。

